アルジェリア政治・経済月例報告
（2024年7月）

2024年7月
在アルジェリア日本国大使館

内政

●1日、ベナブドスラム新アルジェリア戦線（FAN）党首は、テブン大統領の立候補を呼び掛け。
●2日、テブン大統領は、シェルシェル軍士官学校の卒業式を主催。シェングリハ国軍参謀総長も同席。
●4日、テブン大統領は、独立記念日（7月5日）を前に、国民向けメッセージを発出するとともに、国軍将校への叙勲伝達式を主催。シェングリハ国軍参謀総長は、国軍勇敢勲章を受章。
●5日、テブン大統領は、独立62周年記念レセプションを主催。
●6日、テブン大統領は、太陰暦元日（7月7日）を前に、国民向けメッセージを発出。
●10日、テブン大統領は、カビリー地方のティジ・ウズ県を訪問し、新スタジアムや新大学病院の竣工式を行うとともに、市民社会代表者らと会談。
●11日、テブン大統領は、次期大統領選への出馬を表明。
●13日、ハヌーン労働党（PT）党首は、自身の大統領選出馬を取り下げるとともに、同党として今次大統領選挙をボイコットする旨発表。
●14日、国軍要員（軍人）が民生部門の行政機関に出向して常勤する手続等を規定する6月27日付大統領デクレが官報に掲載。
●18日、テブン大統領を含む16名が、大統領選立候補の届出を独立選挙機関（ANIE）に提出。
●25日、独立選挙機関（ANIE）は、テブン大統領、ハサーニー平和のための社会運動（MSP）党首、アウシシュ社会主義勢力戦線（FFS）党首の3名が法定要件を満たす立候補者である旨発表。
●31日、憲法裁判所は、テブン大統領、ハサーニー平和のための社会運動（MSP）党首、アウシシュ社会主義勢力戦線（FFS）党首の3名からなる大統領選挙の最終候補者リストを発表。

外交

●2日、テブン大統領は、モーリタニア大統領選の暫定結果発表を受け、ガズワニ現大統領再選への祝意を表明。
●3日、テブン大統領は、当地ロシア大使の急逝を受け、プーチン大統領に対し弔意を表明。アッターフ外相もラブロフ外相に同様に弔意表明。
●3日、アッターフ外相は、当地訪問中のザイ中国中東問題特使と会談。
●4日、当地訪問中の裴・中国退役軍人事務部長は、テブン大統領、レビーカ・ムジャヒディン・権利承継相とそれぞれ会談。
●6日、テブン大統領は、イラン大統領選挙の決選投票を受け、ペゼシュキアン候補への祝

意を表明。
●6日、テブン大統領は、スターマー英首相の就任を受け、祝意を表明。
●6日、アッターフ外相は、アブデルアーティー・エジプト外相と電話会談。
●17－21日、アッターフ外相は、ガーナ開催の第45回AU閣僚執行理事会（EC）に出席するとともに、ファキ・アフリカ連合委員会（AUC）委員長を始め、AUDA－NEPAD、アラブ・マグレブ連合（AMU）、汎アフリカ議会（PAP）、エジプト、ナミビア、南アフリカ、ナイジェリア、エチオピア、ジンバブエ、シエラレオネ、コンゴ共、コンゴ民、モーリタニア、「西サハラ」、ガーナ、ルワンダ、チャド、アンゴラ、タンザニア、南スーダン、赤道ギニア代表らとそれぞれ会談。
●17日、当国外務省はコミュニケにて、マスカット（オマーン）のモスク近辺で発生したテロ攻撃を最もエネルギーに満ちた言葉で非難。
●17－20日、ブガリ下院議長は、ニカラグア開催のサンディニスタ革命45周年式典に出席するとともに、コルテス下院議長、ムリージョ大統領顧問（経済担当）と会談。
●20日、当国外務省はコミュニケにて、パレスチナにおけるイスラエルの行為に関する国際司法裁判所（ICJ）勧告的意見を歓迎。
●20－21日、ラルバウィ首相は、ガーナ開催の第6回AU中間調整会合に出席するとともに、アクフォ=アド・ガーナ大統領、ガズワニ・モーリタニア大統領、マドブーリー・エジプト首相とそれぞれ会談。
●21日、当国外務省はコミュニケにて、イスラエルによるイエメンに対する攻撃を激しく非難。
●21－22日、当地訪問中のヴォロジン・ロシア国家院（下院）議長は、テブン大統領、ブガリ下院議長とそれぞれ会談。
●23日、グジル国民評議会（上院）議長は、中国主催の議会フォーラム出席のため北京を訪問。
●23日、当地訪問中のラングレーAFRICOM司令官は、テブン大統領、シェングリハ国軍参謀総長とそれぞれ会談。
●25日、当国外務省はコミュニケにて、「西サハラ」問題に関する仏のモロッコ自治提案支持について深い遺憾の意を表明。
●25－26日、レビーカ・ムジャヒディン権利承継相は、ベトナムを訪問し、チョン共産党中央総書記の葬儀に出席するとともに、ラム国家主席を表敬。
●25－29日、ブガリ下院議長は、チュニジアを訪問し、ブーデルバラ国民代表議会議長、サイード大統領とそれぞれ会談。
●28日、テブン大統領は、ガズワニ・モーリタニア大統領と電話会談。
●28日、ベルマフディ宗教・ワクフ相は、エジプト開催の第9回世界ファトワ会合に出席。
●30日、当国外務省はコミュニケにて、「西サハラ」問題に関する仏のモロッコ自治提案支持を受け、駐仏アルジェリア大使の即刻召還を決定。
●31日、イラン訪問中のブガリ下院議長は、ペゼシュキアン大統領、カリバフ議会議長とそれぞれ面会。
●31日、アッターフ外相は、当地訪問中のターハ・イスラム協力機構（OIC）事務局長と会談。

経済

●1日、シェルファ農業・農村開発相及びデルバル水相は、マスカラ県において30基の穀物貯蔵庫の建設計画開始を発表。

●1日、世界銀行の2024年度国別所得分類において、当国は「低中所得国」から「高中所得国」に移行。

●1日、アウン産業・製薬相は、オラン県のルノー・アルジェリア工場の稼働再開に言及。

●2日、国営炭化水素公社ソナトラックは、地中海諸国の需要拡大に伴い、7月の液化石油ガス（LPG）の公式販売価格を11％から18％引き上げる旨発表。

●2日、テブン大統領は、全国に251，890戸の住宅提供計画の開始を発表。

●2－5日、新任のディオン世界銀行中東・北アフリカ地域副総裁は、当地を訪問し、テブン大統領、ファーイド財務相、アルカブ・エネルギー・鉱業相、ムーラ・アルジェリア経済再生評議会（CREA）会長、ハシシ・ソナトラック総裁、アジャル国営電力・ガス公社ソネルガス総裁とそれぞれ会談。

●5日、農業・農村開発省は、伊 Bonifiche Ferraresi（BF）社との間で、ティミムーン県における大規模農業プロジェクトの実施に関する枠組み協定に署名。

●8日、国際ガス連合（IGU）は、当国の液化天然ガス（LNG）年間生産量が2，550万トンに上り、本年の生産能力は世界第7位、アフリカでは第1位を占める旨発表。

●8日、当地訪問中の韓国ヒュンダイ代表団は、提携するオマーン企業と共にアウン産業・製薬相と会談し、当地における自動車生産工場設立計画を説明。

●8日、セビタル社子会社サムハ・ホーム・アプライアンス社は、中国ハイアール社と戦略的パートナーシップ契約を締結。

●8日、ハシシ・ソナトラック総裁は、オマーン・アブラジ・エナジー・サービスCEOと会談。

●8－14日、ムーラ経済再生評議会（CREA）会長率いるビジネスミッションは、アルジェリア・加外交関係樹立60周年記念事業の一環としてモントリオール（カナダ）を訪問し、ケベック州後援者協議会及びアルジェリア・カナダ開発協議会（CDCA）との間で、経済フォーラムを開催。CREAとCDCAは覚書を署名。

●9日、住宅・都市計画省は、5日のAADL3（国立住宅開発局による低所得者向け住宅）プログラムへの登録開始から、既に専用プラットフォーム上で112万278人の登録があった旨発表。

●9日、中国バスメーカー・ハイガーは、2025年の生産工場開設を発表。

●10日、エネルギー・鉱業省は、当地訪問中のコンゴ共和国鉱工業・地質省代表団とのビジネス会合を開催。

●10－11日、ハシシ・ソナトラック総裁は、東京開催の第5回日・アラブ経済フォーラムに出席。

●10－11日、当地訪問中のマレーシア鉄鋼大手ライオン・グループは、ファーイド財務相、アルカブ・エネルギー・鉱業相とそれぞれ会談。

●10－11日、当地訪問中の西アフリカ経済共同体（ECOWAS）地域電力規制庁（ARREC）代表団は、当国電力事業者との間で、4つの協力協定を署名するとともに、アジャル・ソネルガス総裁と会談。

●13日、防災国家機関（DNRM）は、国際協力機構（JICA）との間で、地震災害への対応

能力強化に係る協力文書に署名。
●15日、国営製薬会社サイダルは、アルジェリア輸出保険会社（Cagex）との間で、対アフリカ輸出促進に係る枠組み協定に署名。
●16日、国営鉄道公社（SNTF）は、チュニジア国営鉄道公社（SNCFT）との間で、両国間の旅客・貨物列車の運行再開を決定。
●17日、国営炭化水素資源開発庁（ALNAFT）は、ベトナム石油公社（PVEP）との間で、投資及びパートナーシップに係る覚書に署名。
●18日、国際移住機関（IOM）は、当地仏大との間で、移民の自発的帰還プログラムへの100万ユーロ拠出に係る契約に署名。
●21日、ソナトラックは、植樹やフレアガス観測等を通じ温室効果ガス排出量の削減を目指す新たな気候変動対策に係る戦略を発表。
●22日、ソナトラックは、独VNG社、伊SNAM社、伊 SEA CORRIDOR 社、オーストリア VERBUND 社関係者を集め、SouthH2 回廊を通じた対欧州の水素の輸送に係るハイレベル会合を開催。
●22日、CREAは、チュニジア産業貿易手工芸連合（UTICA）及びリビア商工農業会議所総連合（GUCC）との間で、3国間の経済交流強化のためのパートナーシップ評議会設立に合意。
●23日、ソナトラックは、スペイン Naturgy 社との間で、昨年及び本年の天然ガス供給価格に係る契約を締結。
●23日、国家エネルギー利用合理化促進庁（APRUE）は、国連開発計画（UNDP）との間で、エネルギー効率促進のための協力協定に署名。
●24日、ソナトラックは、トルコ・トスヤリ社との間で、グリーン水素製造に係る覚書に署名。
●24－25日、アルジェリア電力産業クラスター（CIEL）は、ガーナ開催の第9回西アフリカ地域エネルギー規制当局フォーラムに出席。
●24日、ベンターレブ労働・雇用・社会保障相は、当国訪問中のバラク・イラク労働組合総同盟議長兼アラブ労働組合連合副事務局長と会談。
●27日、国家農地局（ONTA）は、農業生産を増大し輸入を減らすため、120万ヘクタール以上の国有農地を民間投資家へ譲渡する計画を発表。
●28日、官報第49号に、イスラム銀行や金融機関が付与する中・低所得者層向け不動産ローンの金利と利益率の引下げに係る政令が掲載。
●29日、ラフルーフ公共事業・基礎インフラ相は、大規模鉄道建設プロジェクトを担当する新たな公共鉄道建設グループの創設を発表。
●29日、ソナトラックは、カナダ Stream-Flo Industries Ltd.との間で、炭化水素業界向け部品製造を専門とする合弁会社の設立に係る覚書に署名。
●29－31日、リビア国営石油会社（NOC）代表団は、ソナトラックの招待で当地を訪問し、両社子会社間で、採掘や機材の提供に係る覚書を署名。
●31日、ソナトラック及びソネルガスは、伊ENIとの間で、両国間の海底ケーブル建設を通じた電力網接続プロジェクトの実現可能性調査の実施に係る覚書に署名。

治安

●2日、国軍は、6月20日－25日実施の掃討作戦でテロリスト5人を逮捕した旨発表。
●7日、セティフ県において、通行人が野良犬の群れに襲われる事案が発生。
●10日、国軍は、1日－9日実施の掃討作戦でテロリスト5人を殺害、テログループ支援者7人を逮捕した旨発表。
●13日、アルジェ県警察は、ルイバ地区で発生した複数の侵入窃盗事件を捜査した結果、窃盗グループ構成員6人を逮捕、金製装飾品や外国貨幣、264万ディナール等を押収した旨発表。
●15日、ベジャイア県警察は、ティシー地区で、住民の苦情を受け臨海部のアパート等を捜索し、女8人を含む売春グループ構成員17人を逮捕、薬物や避妊具、売春の対価として得た59万ディナール等を押収した旨発表。
●17日、国軍は、10日－26日実施の掃討作戦でテログループ支援者16人を逮捕した旨発表。
●18日、憲兵隊は、コンスタンティーヌ県で、脱税目的の資金洗浄、偽造インボイスを使った不正商行為等の疑いで、犯罪グループ構成員20人を逮捕した旨発表。
●19日、アルジェ県警察は、5日開催のサッカー・アルジェカップ決勝戦の入場券を偽造した疑いで3人を逮捕、偽造入場券81枚、偽造入場バッジ9個等を押収した旨発表。
●24日、シディ・ベラベス県警察は、2000ディナール紙幣偽造グループの構成員5人を逮捕、偽造紙幣110万ディナール相当、紙幣偽造機器等押収した旨発表。
●26日、国家警察庁は、アルジェ県バベズアール地区において、刃物を使用し、向精神薬を奪う目的で薬局を襲撃した4人組を逮捕した旨発表。
●28日、国家警察庁（DGSN）は、複数の県で、計26人から成る3つの麻薬・薬物組織を摘発し、向精神薬約34万錠及びコカイン約2キロを押収した旨発表。
●30日、国軍は、25日－30日実施の掃討作戦でテロリスト3人を殺害した旨発表。

（了）